

品川区議会議員 週刊区議会報告

発行責任者 区議会議員

安藤たい作

連絡先 日本共産党品川区議団控室

TEL 5742-6818

非常勤の均等待遇、大崎短絡線、奨学金、教育・・・

安藤たい作区議、予算委員会で 区民要求を掲げ奮闘

安藤たい作区議会議員が、次の見解を発表しましたので掲載します。



卒業式シーズンです。いくつかの卒園・卒業式にご招待を受け、参加させていただきました。人生の節目ふしめでもしっかりと自己の成長を確認し、他者への感謝の気持ちをあらたにすることはやはり大切なことなんだなあ、と思いました。新たなステージに向け、頑張ってください。

北品川2丁目一国の横断歩道が改善されました



改善前
区の管理工事課にかけあい、国交省東京国道工事事務所が現地調査を実施。目立つ色のポールが立つことで、危険が軽減されました。

ガードレールが及ばない部分に高い段差があります。信号点滅時に急いで渡る小学生が多く、つまづいて危ないとの声が安藤区議に。



改善後

70年度の品川区の予算を審議する予算特別委員会が去る3月19日、閉会しました。安藤たい作区議は地域の要求を掲げ、5回質問に立ちました。安藤区議の款別の質問項目は以下の通りです。
【補正予算】図書館窓口の民間委託は見直しを
【総務費】奨学金制度の大学生までの拡充を求める
【民生費】非常勤の保育士へ「均等待遇」の実現を
【土木費】大崎短絡線計画で区はJRに指導せよ
【教育費】差別と選別の習熟度別授業は見直しを
地元を不安におとし入れる大崎短絡線
大崎短絡線計画（注）での質問では安藤区議は、地元町会が中心となって設立された環境を守る会主催の説明会で聞いた生の声を紹介。区の短絡線についての基本的認識を聞きました。
区は区長が都知事あてに提出した環境影響評価調査についての意見書の中で「環境にも十分配慮するように」「事業計画案に関わらず再検討を」と求めています。一方で「短絡線について反対ということは申し上げてない」「（計画は）交通の有用性・利便性に寄与し評価する」とも答弁。腰が引けています。地元が求める「地下化」を具体的にJR側に求めることへの明言も避けました。
安藤区議は区が自ら制定した環境計画の中で「事業者への指導」「環境調査の実施」を掲げていることを指摘し「区民の立場に立ちJRに毅然とした対応を」と迫りました。

大崎短絡線計画とは

JRが横須賀線を増発するため、現在の上り線で大崎駅にショートカット（短絡）する線路を建設する計画。百七人の死者を出し未曾有の惨事となったJR西日本・福知山線脱線事故よりはるかに急な半径160Mのカーブを（福知山線は300M）下り勾配でブレーキを掛けながら電車が通過、大崎駅へ。事故の懸念の他、大增発による騒音・鉄粉被害、開かずの踏み切りの増加に伴う交通渋滞などの問題点が指摘され、地元町会を中心に反対運動が起こっています。

安藤たい作プロフィール '74年 宮城県仙台市生まれ33歳。'97年 国立宮城教育大卒。'98年 漫画家を志し上京、漫画家アシスタント。'02年 青年誌奨励賞受賞。大崎駅西口駐輪場改善運動に取り組む。4年の派遣労働経験を経て、'06年の品川区議会議員補欠選挙で初当選。趣味/漫画・イラストを描くこと、キャッチボール。大崎在住。

この週刊区議会報告は、「品川区議会における政務調査費の交付に関する規定」で定める使途基準「広報・活動費」に基づき、政務調査費によって発行されています。